

告示	番号	53	慢性心疾患
	疾病名	先天性心膜欠損症	

先天性心膜欠損症

せんてんせいしんまくけっそんしょう

概念・定義

先天的に心膜が欠損した状態である。無症状であるが、部分欠損では、心耳が嵌頓したり、冠動脈が圧迫されたりすると胸痛を生じることがある。嵌頓の危険がある場合には手術する。

症状

多くは無症状である。たまに胸痛を訴えることがある。心膜欠損部の心耳、心室や心膜欠損部の遊離部が冠動脈を圧迫すると胸痛を訴える。通常、心電図、胸部エックス線は正常なことが多い。心電図では時に、右脚ブロック、右軸偏位をみることがある。胸部エックス線所見として、心臓の左方偏位があるものの、気道は正中にある。左心膜部分欠損では左心耳が突出することがあり、肺動脈直下に膨隆した陰影として現れる。心臓カテーテル検査では、造影で、左心耳が左胸腔に突出していることがある

治療

部分欠損では、左心耳、左室が突出して、絞扼する恐れがある場合は、パッチ閉鎖術か直接縫合術を行う

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/4_23_27.html